**要介護認定　調査票自己点検シート**

金沢市

認定調査票提出の際に、調査票自己点検シート（原本）を添付してください。**当シートの**

**点検内容と調査票の内容に差異がある場合は、調査票の再提出をお願いすることがあります。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 被保険者番号 |  | 調査実施日 | 令和　　　年　　　月　　　日 |
| 被保険者氏名 |  | 調査同席者 | （例：長男、ケアマネ） |
| 性別 | 男　・　女 | 調査実施場所 | 自宅　・　自宅外 |

【基本情報】

【認定調査について】

調査事業所名：

調査員氏名（自署）：

**調査票の記載に要した時間**　　　　　**分**

**調査票の点検に要した時間**　　　　　**分**

　　　**※調査票の点検が終了してから□に「レ」を入れてください**

|  |
| --- |
| □ 当シートに基づき、すべての項目を点検した |

|  |
| --- |
| □ 対象者本人の調査票である（被保険者番号の誤りはない。他の人の調査票は混ざっていない） |
| □ 全ての調査票に対象者番号（被保険者番号）を記載した |
| □ 調査票（概況調査）に調査実施日時、実施場所、調査員名（名字）を記載した |
| □ 調査票（概況調査）のⅣと調査票（特記事項）は枠内に収まるように記載されている |
| □ 調査票（概況調査）に具体的な住居の場所や、アパート等の具体的な階数は記載していない |
| □ 調査票（概況調査）（特記事項）に具体的な氏名や地名、施設名（病院名）は記載されていない |
| □ 調査票（基本調査）にチェックもれ、二重チェックはない |
| □ 認定調査員テキストの定義に基づいたチェックが行われている |
| □ 項目のチェックと特記が一致している（「１」以外にチェックがある場合は必ず特記を記載） |
| □ 調査票（特記事項）の必須記載項目について、問題がない場合でも特記事項を記載した |
| □ 調査票（特記事項）に状況と選択した根拠が記載されている |
| □ 調査票（特記事項）に介護の手間（具体的な介助や対応の内容）が記載されている |
| □ 調査票（特記事項）に頻度（具体的な回数）が記載されている |

【基本調査項目について（一部抜粋）】**※テキストにて定義・選択基準は必ず確認すること**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １群 | 1-1 | 麻痺の有無 | □ 自力で確認動作ができるかどうかで評価した　※しびれ等の感覚障害は含まない |
| 1-2 | 拘縮の有無 | □ 他動的に確認動作ができるかどうかで評価した　※股関節は屈曲または外転を評価 |
| 1-5 | 座位保持 | □ 10分間程度背もたれがない状態で座位保持できるかどうかで評価した |
| 1-6 | 両足立位 | □ 平らな床の上で両足での立位を10秒間程度保持できるかどうかで評価した |
| 1-7 | 歩行 | □ 継続して5m程度歩けるかどうかで評価した　※立ち止まった場合は「できない」 |
| 1-9 | 片足立位 | □ 平らな床の上で片足での立位を1秒間程度保持できるかどうかで評価した |
| 1-10 | 洗身 | □ 浴室内でスポンジ等に石鹸等をつけて全身を洗えるかどうかで評価した |

（裏面に続く）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ２群 | 2-1 | 移乗 | □ でん部を移動させ、ベッド・車いす等へ乗り移る介助方法で評価した |
| 2-2 | 移動 | □ 日常生活に必要な場所への移動の介助方法で評価した　※外出行為は含まない |
| 2-3 | えん下 | □ 食物をえん下できるかどうかで評価した　※能力評価。見守りの有無は評価しない |
| 2-4 | 食事摂取 | □ 食事摂取の介助方法で評価した　※経管栄養・中心静脈栄養を含む |
| 2-52-6 | 排尿排便 | □ 排尿・排便の一連の行為への介助方法で評価した　　※日常的な掃除、トイレまでの移動、失禁後の衣服の更衣は含まない□ どのような介助にどの程度の手間を要しているか、具体的な頻度を記載した |
| 2-102-11 | 上衣着脱ズボン着脱 | □ 上衣・ズボン等の着脱への介助方法で評価した（協力動作の有無の記載要）　　※衣服の選択、準備等着脱までの行為は含まない |
| 2-12 | 外出頻度 | □ 1回30分以上居住地の敷地外へ出る頻度で評価した　※同一敷地内は含まない |

　　　※2-5、2-6と2-10、2-11はまとめ特記にせず、できるだけ具体的に記載すること

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ３群 | 3-1 | 意思の伝達 | □ 調査対象者が意思を伝達できるかどうかで評価した　※手段・合理性は問わない |
| 3-2 | 日課を理解 | □ 起床・就寝・食事等のおおまかな予定について理解してるかどうかで評価した |
| 3-4 | 短期記憶 | □ 調査直前の行動を把握してるかどうかで評価した　　※調査直前の行動確認で判断できれば、物品テストを行う必要はない |
| 3-7 | 場所の理解 | □ 自分がいる場所が分かるかどうかで評価した　※「自宅でない」だけでは情報不足 |

|  |  |
| --- | --- |
| ４群 | **社会生活上、場面や目的からみて不適当な行動があったかどうか**のみで評価（4-12除く）「ない」・・・1ヶ月間に1度もない。意識障害、寝たきり等で問題行動が生じない場合「ときどきある」・・・月１回以上週１回未満の頻度で行動が生じる場合「ある」・・・週１回以上の頻度で行動が生じる場合※具体的な介助内容（対応）や、具体的な頻度を特記に記載し、二次判定で評価する |
| 4-3 | 感情が不安定 | □ 泣いたり笑ったりして感情が不安定になる行動の頻度で評価した※「不安感」のみの場合は定義に含まれない |
| 4-4 | 昼夜逆転 | □ 昼夜逆転の頻度で評価した　※生活習慣、生活環境、トイレの起床は含まない |
| 4-7 | 介護に抵抗 | □ 介護抵抗の頻度で評価した　※助言に従わない場合は含まない |
| 4-8 | 落ち着きなし | □ 落ち着きない行動の頻度で評価した　※帰宅願望と落ち着きない状態の両方ある場合 |
| 4-12 | ひどい物忘れ | □ ひどい物忘れ行動の頻度で評価した※何らかの行動が起こっているか、何らかの対応を取る必要がある場合（対応の有無は含まない） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ５群 | 5-1 | 薬の内服 | □ 薬の内服の介助方法で評価した　※内服がない場合は処方を想定して評価する |
| 5-5 | 買い物 | □ 日用品の買い物について、介助方法で評価した　　※ヘルパー等に依頼する場合は、「依頼」「買い物する人への支払い」も含めて評価する |
| 5-6 | 簡単な調理 | □ 簡単な調理の介助方法で評価した　　※簡単な調理とは、「炊飯」「弁当・総菜等（流動食含む）の加熱」「即席めんの調理」のみ |

|  |  |
| --- | --- |
| ６群 | □ 医師の指示に基づき、看護師等によって実施された医療行為のみ評価した（14日以内）※急性疾患への対応で一時的に実施される医療行為は含まない（継続実施のみ評価）※実施頻度/継続性、実施者、当該医療行為の必要な理由の記載が必要 |

|  |  |
| --- | --- |
| ７群 | 判定基準を必ず確認し、選択した根拠を特記事項に記載すること |
| 7-1 | □ 能力評価ではなく、対象者の移動に関わる状態像に着目して評価を行った |
| 7-2 | □ 対象者の認知症に起因する症状・行動に基づいて評価を行った |